

取付・設置説明書

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した **△ 注意**は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付・設置完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法を説明してください。また、この「取付・設置説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管していただくように依頼してください。
- 取付・設置は、専門業者にご依頼ください。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



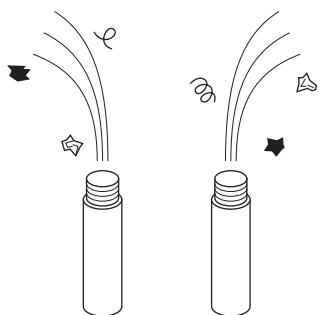
この図記号は、製品の取扱いにおいて、
その行為を禁止する図記号です。



この図記号は、製品の取扱いにおいて、
指示に基づく行為を強制する図記号です。

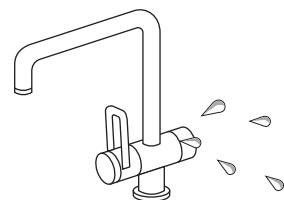
⚠ 注意

水栓を取り付ける前に、配管内のゴミ等を完全に取り除いてください。



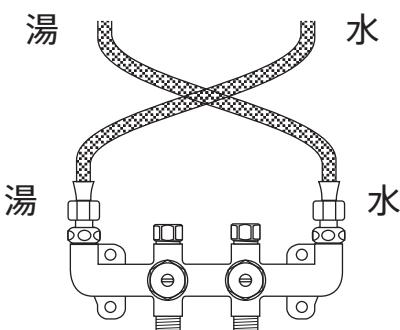
水漏れが発生し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

取付・設置完了後は、配管接続部および器具から水漏れが無いことを確認してください。



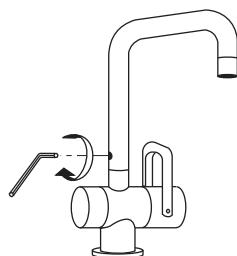
漏水で、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

湯水を逆に配管しないでください。



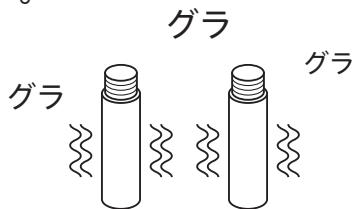
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

吐水パイプのネジが確実に締まっていることを確認してください。



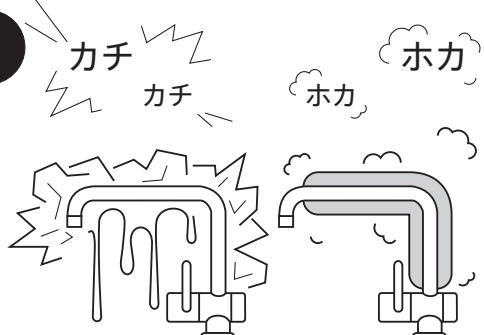
接続部分に負荷がかかり、漏水して家財等を濡らす財産損害の恐れがあります。

水栓を固定する配管はしっかり固定してください。



接続部分がゆるみ、漏水して家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

凍結が予想される際は、室温を下げるようにして水栓を布等の保温効果があるので包んでください。



凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

取付け後に、ブレードホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。



接続部分に負荷がかかり、漏水して家財等を濡らす財産損害の恐れがあります。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。



やけどの恐れがありますので、やけどの恐れが無いところまで水圧変動を押さえた配管設備にしてください。

仕様

給水・給湯圧力	推奨操作水圧	0.2~0.4 MPa
	最低必要水圧	0.05 MPa
	最高水圧	0.5 MPa
最高給湯温度	80°C以下	
推奨給湯温度	65°C	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
用途	一般住宅用	

取付け前のご注意

- 給水圧力が0.5 MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して推奨操作水圧(0.2~0.4 MPa)に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より高くするか同等になるようにしてください。
- 誤作動などによるやけどを防止するため、65°C給湯をお奨めします。
- 給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

水栓の取付け（シングルレバー混合水栓〔ブレードホース仕様〕）1

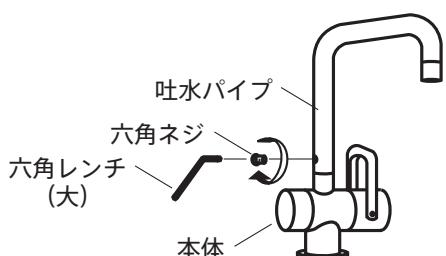
<組立付属品>

六角レンチ（大） 六角レンチ（小）



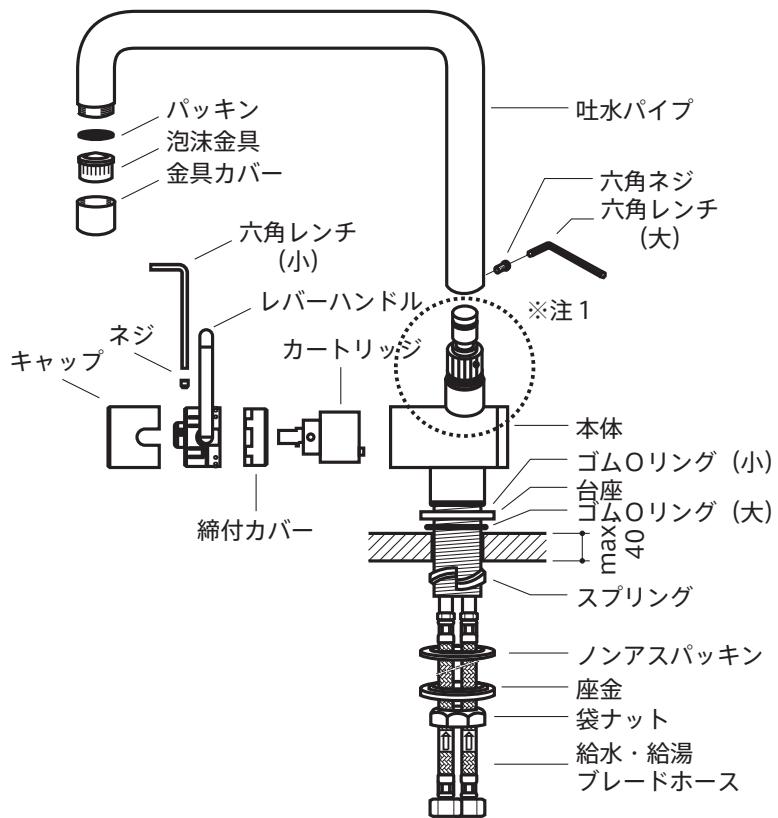
(1) 水栓の組立て

- ・吐水パイプを本体へ差し込み、六角レンチ（大）で固定します。



分解図

万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。



■取付け順に従って確実に取付けてください。

■取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水漏れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。

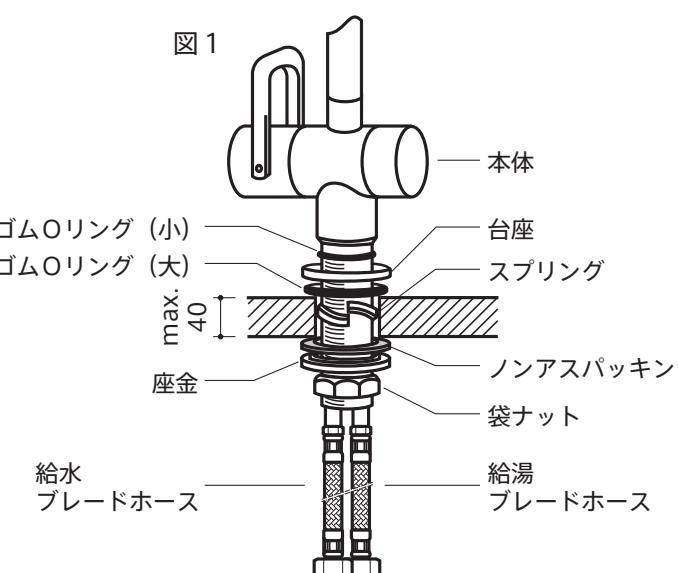
■水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

(2) 水栓本体の取付け（図1）

- ・水栓本体が正面を向くように固定します。

スプリングは水栓を中心固定するためのプラスチック部品です。これはシンクが斜面になっている場合でも、水栓を垂直に取付けることを可能にする部品です。

図1



水栓の取付け（シングルレバー混合水栓〔ブレードホース仕様〕）2

■直接配管する場合

・水栓本体を本固定し、給水・給湯ブレードホースを止水栓にねじ込み固定してから、スパナで袋ナットを締めて止水栓に固定してください。（図2、3）

注意：給水・給湯ブレードホースの抜け防止のため、給水・給湯ブレードホースの接続部分が確実に締まっているか確認してください。また給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

給水・給湯ブレードホースを固定後、本体接続部分が確実に締まっているか確認してください。

図2

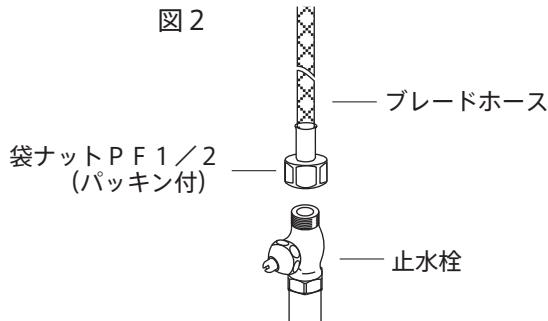
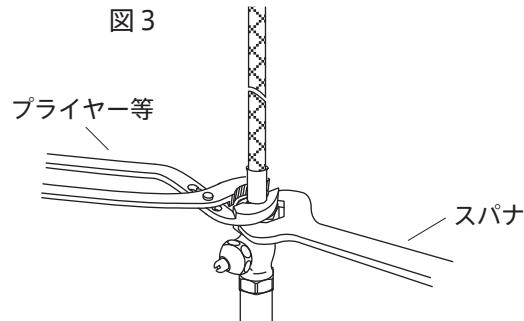


図3



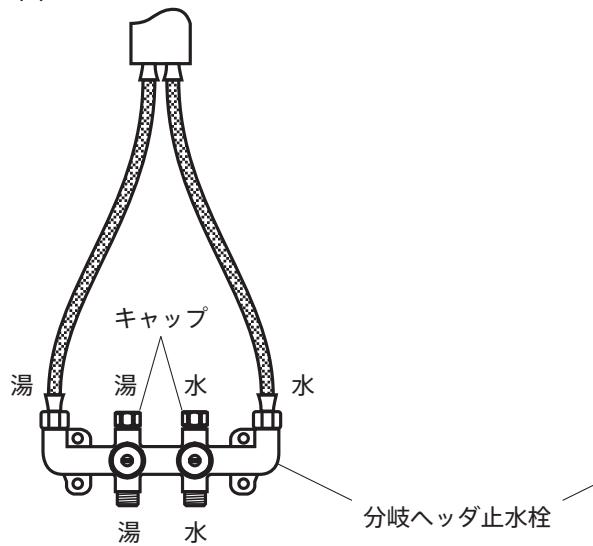
■分岐ヘッダ止水栓を使用する場合

・ブレードホースを分岐ヘッダ止水栓にねじ込み、固定してください。（図6、7）

注意：給水・給湯ブレードホースの抜け防止のため、給水・給湯ブレードホースの接続部分が確実に締まっているか確認してください。また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。

水栓1本使用の場合の取付け

図4



水栓2本使用の場合の取付け

図5

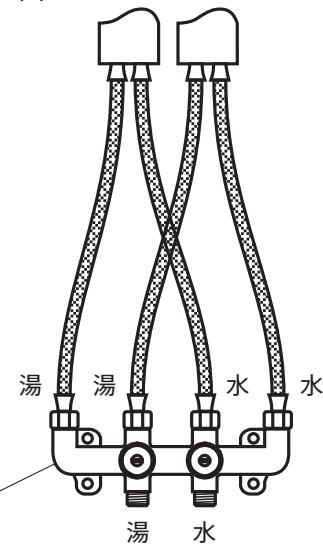


図6

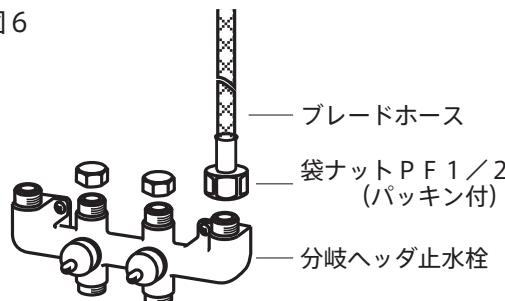
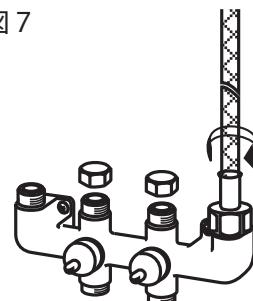


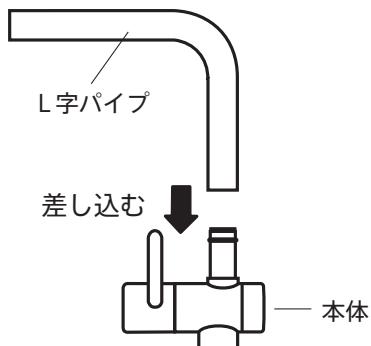
図7



水栓の取付け（メタルホース付シングルレバー混合水栓〔ブレードホース仕様〕）3

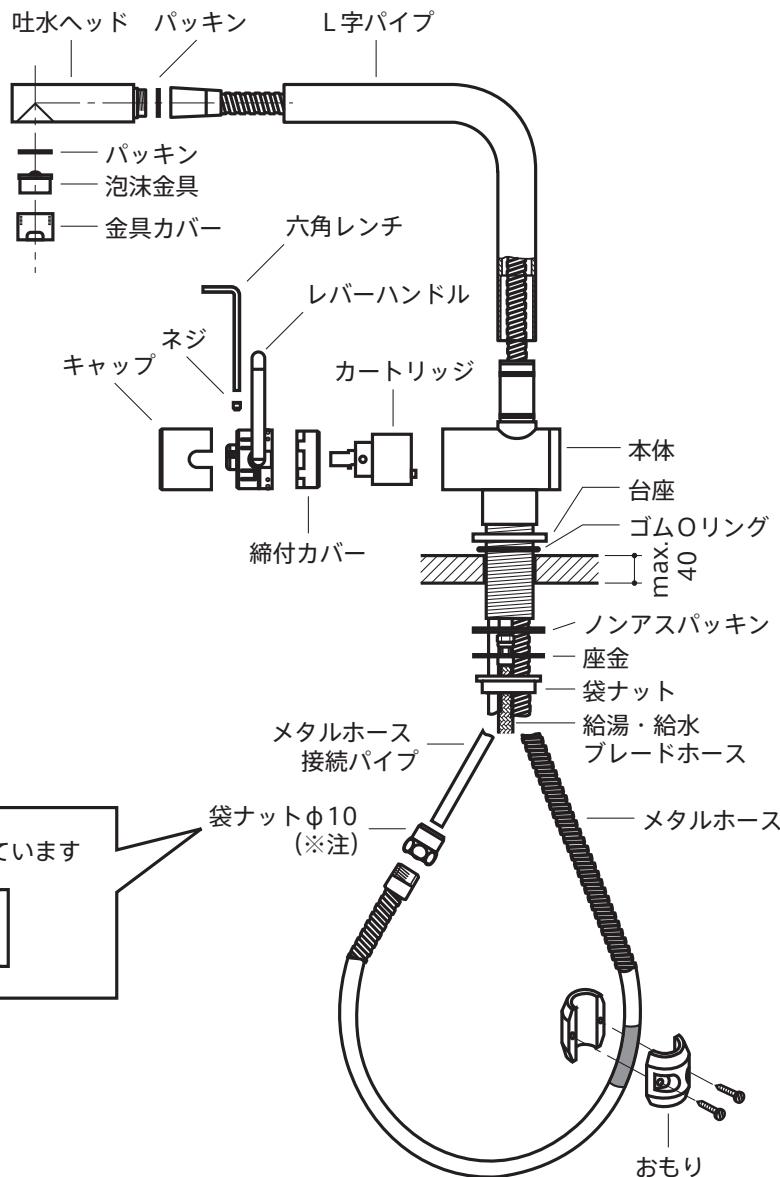
(1) 水栓の組立て

L字パイプを、本体へしっかりと差し込みます。



分解図

万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。



※注

袋ナットは下記のどちらかが同梱されています



or

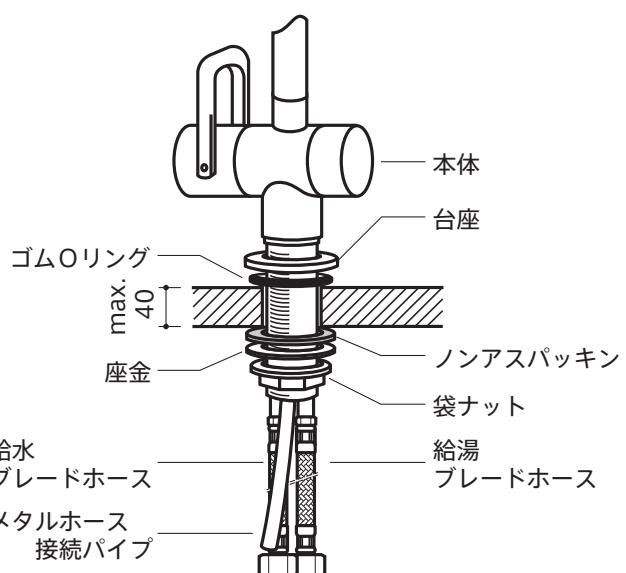


- 取付け順に従って確実に取付けてください。
- 取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水漏れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。
- 水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

(2) 水栓本体の取付け(図1)

- ・水栓本体が正面を向くように固定します。

図1



水栓の取付け（メタルホース付シングルレバー混合水栓〔ブレードホース仕様〕）4

■直接配管する場合

- 逆止弁を止水栓に取付けます。（図2）
給水・給湯ブレードホースを逆止弁にねじ込み固定してから、スパナで袋ナットを締めて止水栓に固定してください（図3）

注意：給水・給湯ブレードホースの抜け防止のため、給水・給湯ブレードホースの接続部分が確実に締まっているか確認してください。また給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。
給水・給湯ブレードホースを固定後、本体接続部分が確実に締まっているか確認してください。

図2

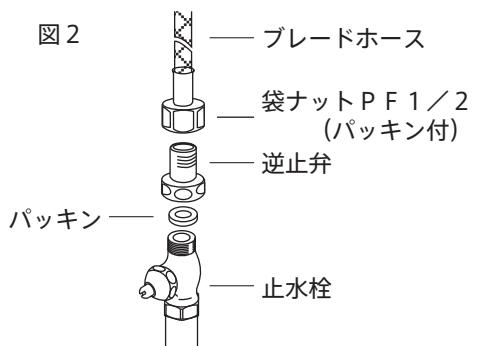
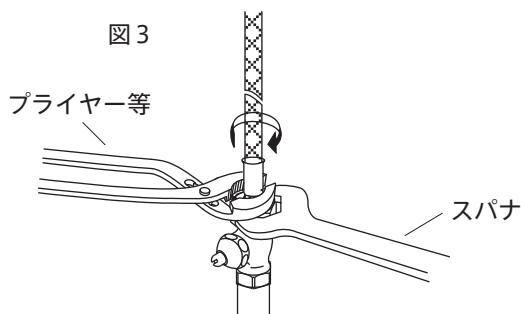


図3

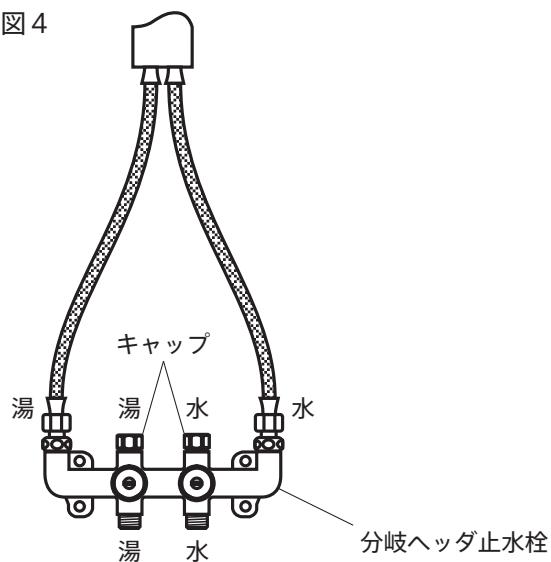


■分岐ヘッダ止水栓を使用する場合

- 逆止弁を分岐ヘッダ止水栓に取付けます。（図6）
給水・給湯ブレードホースを逆止弁にねじ込み、固定してください。（図7）
- 注意：給水・給湯ブレードホースの抜け防止のため、給水・給湯ブレードホースの接続部分が確実に締まっているか確認してください。また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。

水栓1本使用の場合の取付け

図4



水栓2本使用の場合の取付け

図5

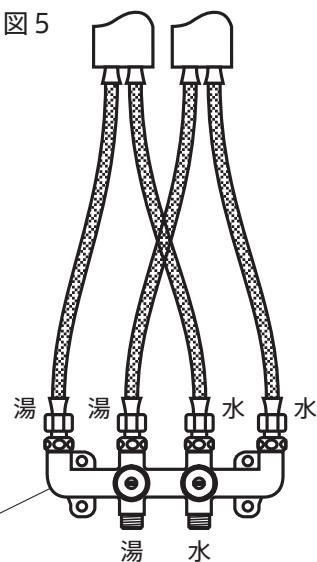


図6

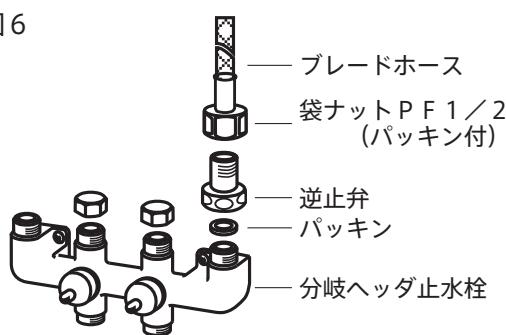
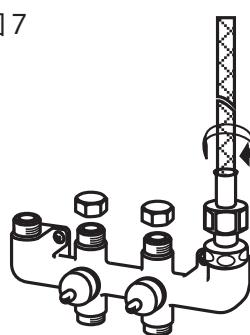


図7



(3) メタルホースの取付け

- 1 メタルホースを本体とL字パイプの中に通した後、吐水ヘッドと接続します。（図10）
- 2 【樹脂リング（大）を含む袋ナットの場合】
 - ・メタルホース接続パイプの先端から約15mmの位置にマーキングします。（図11）
 - メタルホース接続パイプに袋ナットを入れ、先ほどマーキングした15mmの位置までメタルホースにしっかりと押しつけ、メタルホースを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。

【金属スペーサーを含む袋ナットの場合】

 - ・金属スペーサーがメタルホース接続パイプにあたるまで袋ナットをしっかりと押しつけ、メタルホースを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。

この時、パイプ部がねじれないように締め付けてください。
- ※ 袋ナットを締め付ける際は、部品の順番と向きに注意してください。
（「袋ナット納まり図」参照）
- 3 おもりは、吐水ヘッドの納まりを良くするためと、引出した時のストップバーの役目をします。黄色テープの位置にしっかりと取付け、吐水ヘッドをいっぱいに引出した状態でメタルホースにゆとりがない時は、おもりの位置を適当にずらしてください。（図12）

図11

樹脂リング（大）を含む袋ナットの場合

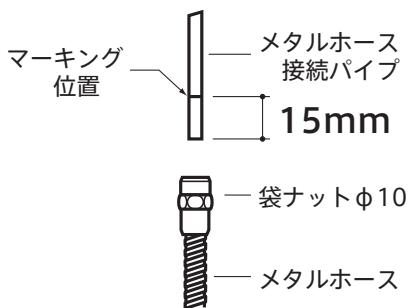
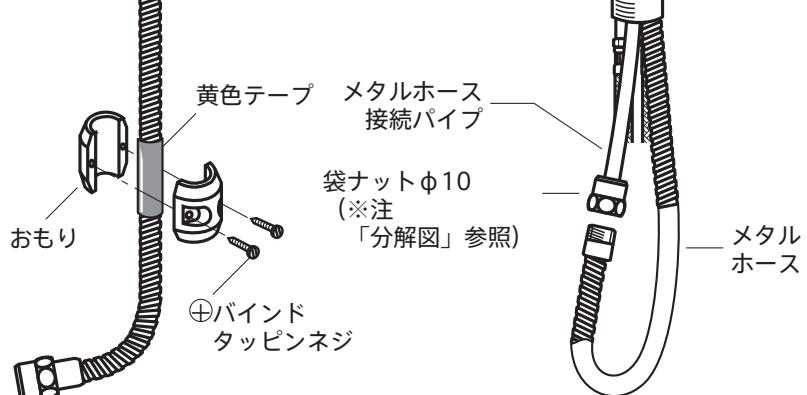


図12

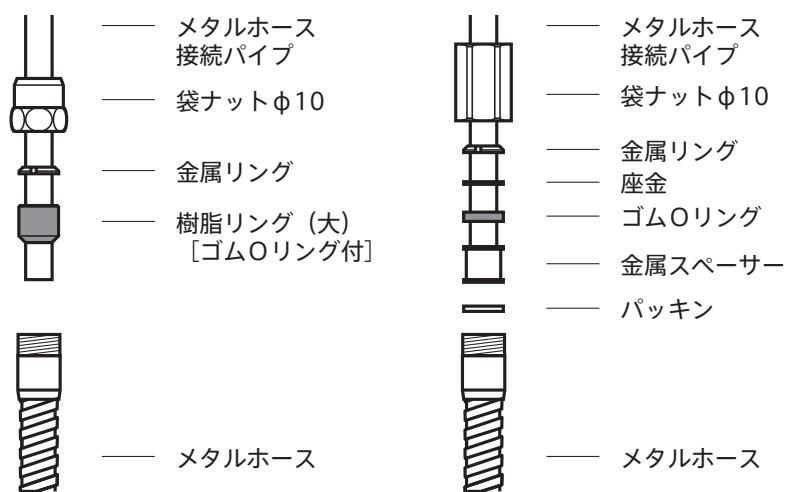


袋ナット納まり図〔ブレードホース仕様〕

注意：袋ナットを締め付ける際は、部品の順番と向きに注意してください。

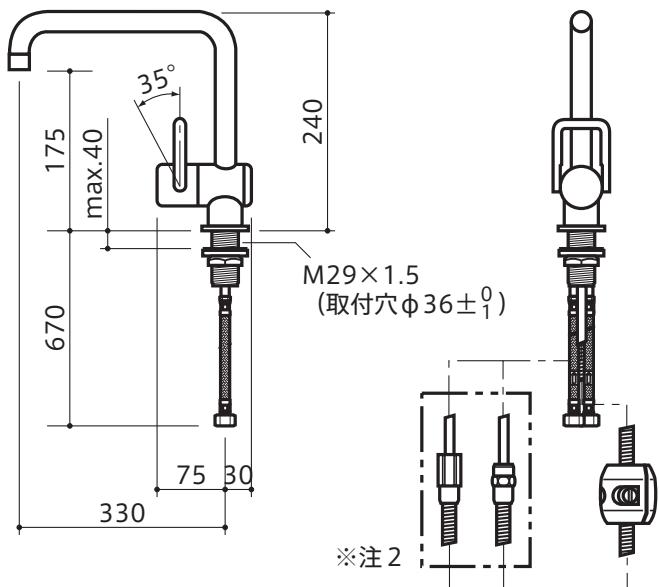
■メタルホース接続パイプ

※袋ナットは下記のどちらかが同梱されています。



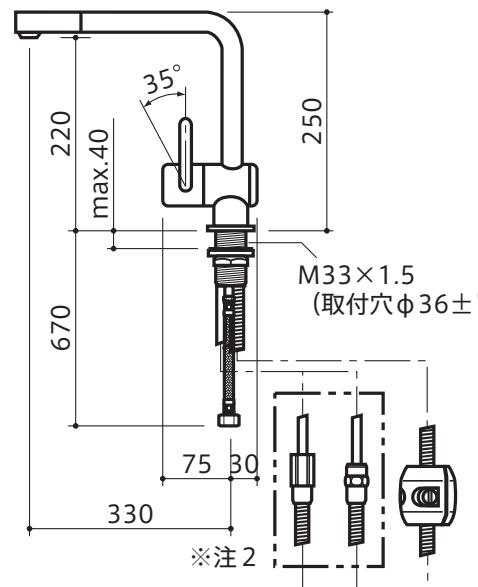
外観寸法図 [ブレードホース仕様]

シングルレバー混合水栓



メタルホース付シングルレバー混合水栓

※注2 袋ナットはどちらかが同梱されています



水栓の取付け（シングルレバー混合水栓〔銅管パイプ仕様〕）1

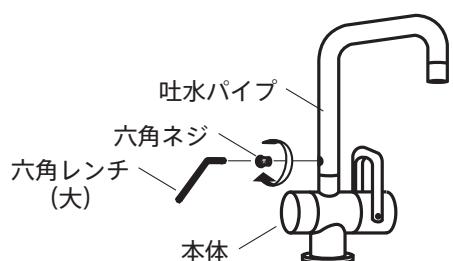
<組立付属品>

六角レンチ（大） 六角レンチ（小）



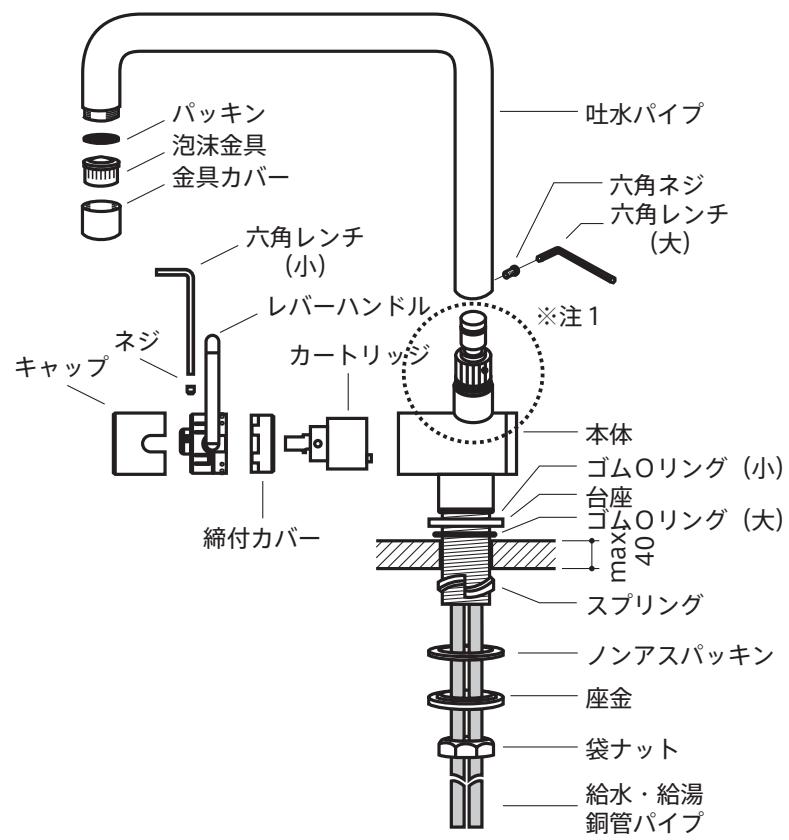
（1）水栓の組立て

- ・吐水パイプを本体へ差し込み、六角レンチ（大）で固定します。



分解図

万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。



■取付け順に従って確実に取付けてください。

■取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水漏れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。

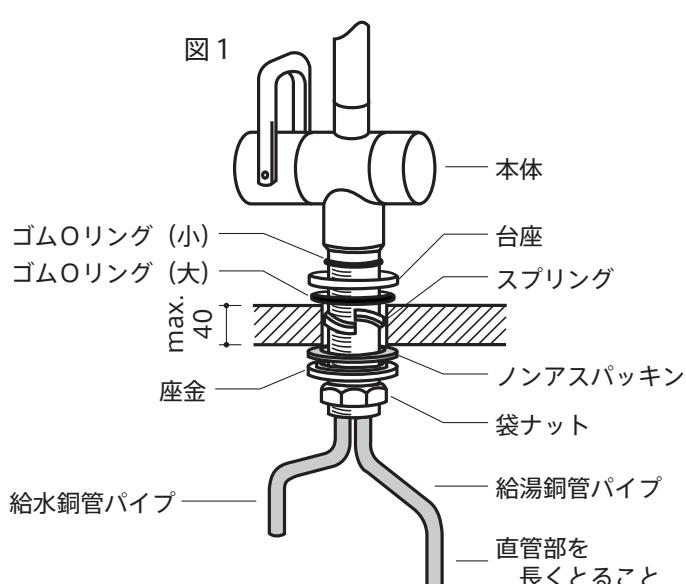
■水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

（2）水栓本体の取付け（図1）

- ・水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯銅管パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。また給水・給湯銅管パイプはつぶさないように注意してください。

スプリングは水栓を中心に固定するためのプラスチック部品です。これはシンクが斜面になっている場合でも、水栓を垂直に取付けることを可能にする部品です。

図1



水栓の取付け（シングルレバー混合水栓〔銅管パイプ仕様〕）2

※配管部品はオプションですので、配管に応じて別途購入してください。

■直接配管する場合

- ・銅管アダプターを止水栓に仮固定し、給水・給湯銅管パイプの必要長さを測り、切断します。（図2）

※銅管アダプターへの差込代を約30mm確保してください。

- ・給水・給湯銅管パイプに図3の順に入れ、給水・給湯銅管パイプの下端から樹脂リングの上端まで24mmに合わせます。（「樹脂リング取付位置」参照）水栓本体を本固定し、給水・給湯銅管パイプを銅管アダプターに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。（「袋ナットの固定方法」参照）（図4）

※袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。（「袋ナット納まり図」参照）

注意：給水・給湯銅管パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

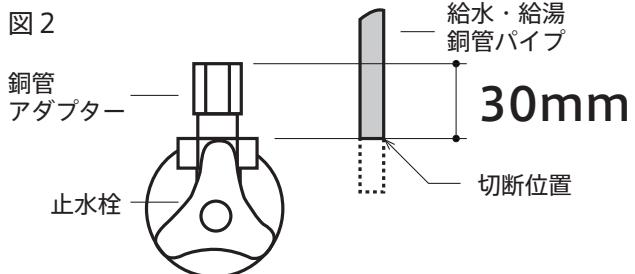


図3



図5 水栓1本使用の場合の取付け

図6 水栓2本使用の場合の取付け

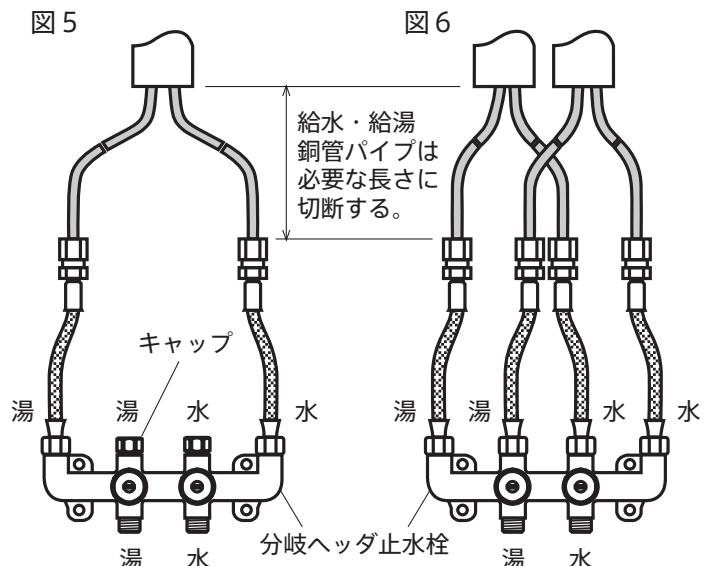


図8

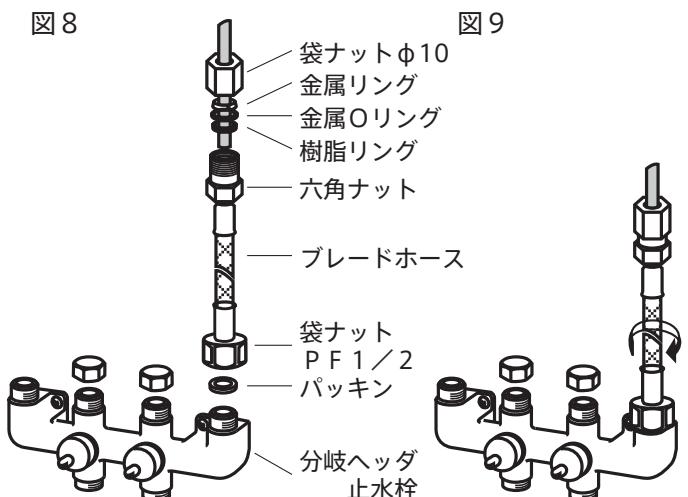


図9

- ・給水・給湯銅管パイプに図8の順に入れ、給水・給湯銅管パイプの下端から樹脂リングの上端まで24mmに合わせます。（「樹脂リング取付位置」参照）

水栓本体を本固定し、給水・給湯銅管パイプをブレードホースに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。（「袋ナットの固定方法」参照）

ブレードホースを分岐ヘッダ止水栓にねじ込み、固定してください。（図9）

※袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。（「袋ナット納まり図」参照）

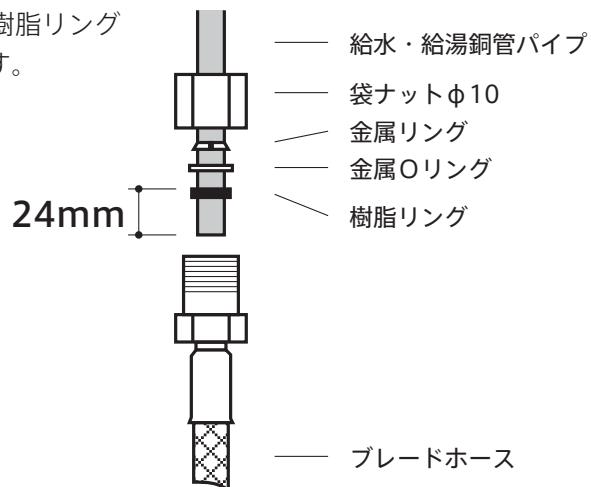
注意：給水・給湯銅管パイプの抜け防止のため、給水・給湯銅管パイプとブレードホースの接続部分（袋ナット）が確実に締まっているか確認してください。また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。

樹脂リング取付位置、袋ナット納まり図 [銅管パイプ仕様]

注意：袋ナットを締め付ける際は、部品の順番と向きに注意してください。

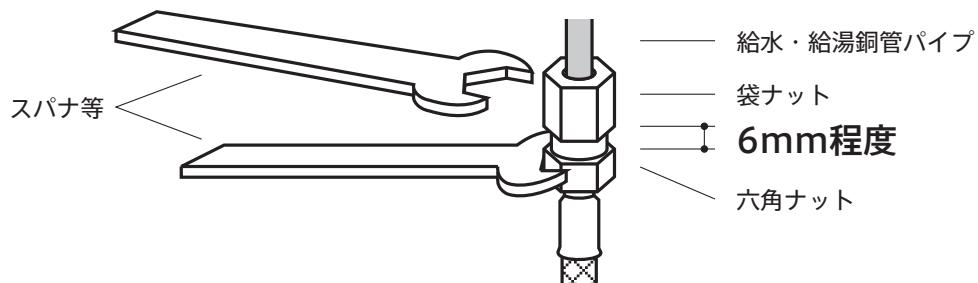
■給水給湯銅管パイプ

- ・給水・給湯銅管パイプの下端から樹脂リングの上端まで **24mm** に合わせます。



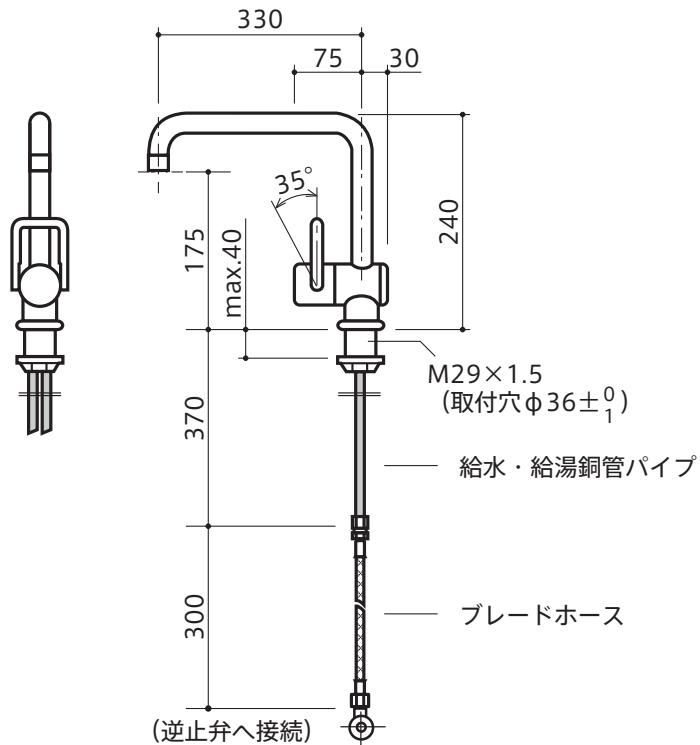
袋ナットの固定方法 [銅管パイプ仕様]

- ・六角ナットをスパナ等で固定しながら、もう1つのスパナ等で袋ナットを回して締め付けてください。
※締め付けがゆるいと、水漏れの原因になりますのでしっかりと締め付けてください。
※再度締め付けを行う場合は、必ず新たな場所で固定してください。水漏れの原因になります。



外観寸法図 [銅管パイプ仕様]

シングルレバー混合水栓



トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050-3852-2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉
メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
F A X 0575-23-1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

